

令和元年度 第2回南区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	令和2年1月9日(木)午後1時30分から午後3時00分まで
会 場	南区役所 4階 講堂
出席者	南区自治協議会 第2部会委員 13名(欠席1名) 教育委員:上田教育委員、小野沢教育委員 事務局:学校支援課長補佐、地域教育推進課長補佐、教育総務課長・主査、白根地区公民館長、白根図書館長、南区教育支援センター所長 他4名
	1 開会
上田教育委員	2 教育委員あいさつ 今年度は、南区担当ということで南区の中学校区ミーティング、ウェルカム参観等の中で子どもたちが元気に健やかに地域の皆さんに支えられながら学んでいる様子を拝見させていただきました。今日は「連携」というテーマで話し合いをしたいと思います。南区は新潟市の中でも連携が進んでいる区だと思っています。皆さんの意見を伺いながら勉強させていただきたい。
小野沢教育委員	前回の教育ミーティングの際に聞いた『白ねこ』の話は、去年、メディアで、新聞・テレビで取り上げていて、皆さんが生き活きとやっていることをテレビで確認させていただきました。実際に拝見することはできなかったのですが、その中で子どもたちが復活劇に非常に多大なる力を発揮したことを聞かせてもらっていたので、そういう点を各メディアが報じていたところでは、教育委員でもありますが、ラジオで携わっている者としてはそういうところの頑張りをもう少し報道がちゃんと伝えられたら子どもたちの励みになったかなと、私自身が少し反省をしているところです。今日も皆さんの取り組みを聞かせてもらって、子どもたちの気持ちの根っこに栄養として送っていけるように何かできたらと思っています。
	3 出席者紹介
学校支援課	4 教育委員会情報提供 令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について
味方小学校長	5 取組事例発表 「地域や各団体と学校との連携について」 ・地域と学校パートナーシップ事業が団体を組織化(「おむすびクラブ」)しているところに大きな特徴がある。 ・団体から支援してもらう際に目的を共有することができている。 ・学校の経営方針も組織の団体に伝えることができ、それぞれの団体の活動内容をより学校と連携したものになるよう考えてもらうことにつながっている。 成果

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校課題と共有することで、主体的に学ぶ姿の実現につながっている。 ・組織化したことで、ボランティア依頼を団体に依頼でき持続可能な体制が確立した。 ・横のつながりができたことで、学校内外で団体が協働し、連携した事業を展開することで地域活性化が図られている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアのやりがいにつなげるために学習支援の活動内容の精査を計画的に行う。 ・地域に開かれた教育課程に努め、地域の良さをより学び、地域の人・ことをさらに活用して地域を盛り上げる仕組みづくりにつなげたい。
白根地区公民館長	<p>「公民館がかかわった地域や各団体と学校との連携について」 『新飯田ふるさとキャンプ』の紹介 課題解決能力や豊かな人間性を身に付け「生きる力」の向上を図り、児童と地域の人とのつながりを深めている。</p>
Aグループ	<p>6 グループ協議</p> <p>「目的の共有・仕組みづくり・人材の確保・学校の負担」の課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域によってかなり差があり、うまくいっているところ、人が集まらないところがある。 ・子どもたちの活動の中で、自分自身が活動の担い手になることでよい循環がうまれる。 ・1人でがんばっても長く続かないので、周りの人を巻き込んでみんなでやっていく。 ・地域同士の交流。
Bグループ	<p>【課題】</p> <p>① ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政間では、人づくり地域づくりをそれぞれがやっているが、横の連携がなくて同じことをやっている。 ・地域の組織化では、居場所・基地的なものがあつたらよい。 ・情報の共有では、それぞれの活動が地域の各世帯に伝わらない。また、情報共有の方法もSNS等を利用して広く若い人たちにも知らせることはできないか。 ・同じ地域で各団体が活動をしているが、他の団体の活動を知らない。 <p>② 人材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア、運営やコーディネートの人材が足りない。世代交代や人材不足の問題がある。 <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロコミ、「友だち大作戦」で友達同士つながりを深めていく。 ・公民館の様々な活動や人材情報を活用したり、また他の地域の活動の事例をもっと知る機会が必要。

<p>上田教育委員</p>	<p>教育委員感想</p> <p>高齢化・ボランティアの方の高齢化の問題で、今日の味方小学校の「おむすびクラブ」の事例がとても参考になったという意見がありました。たとえば、まだボランティアの経験がなくて「学校はどんなことを求めているのだろう。何をしているのだろう」と踏み込めない人は、「こういうことならやってみたい。できるな。」と思ったのではないのでしょうか。今度は組織ができたものではなく、どのようにしてここまでできたのかという話も機会があったらぜひお願いしたい。また、公民館の40年続いたキャンプの事例では、生徒の8割以上が参加しているということで、ぜひこれからも続けてもらいたいし、講師の循環で参加した生徒が講師として参加するなどいい仕組みだと思います。</p>
<p>小野沢教育委員</p>	<p>味方小の事例は、ボランティアがどんどん増えてきたり、小学生がボランティアとして帰ってきたりするすばらしい事例だと思います。キャンプもスキーも盆踊りもずっとやっていたけれどだんだんなくなっていったという中で、交流したらどうだろう。みんなと一緒に交流をすることから発見できることはたくさんあります。目的でも「子どもを主役にしよう」や「子どもの笑顔を真ん中に」など、子どもを幸せにして、子どものために何ができるか考える話や、目的意識をちゃんと持って、みんなで大人が支えて行こうという話がありました。また、学習状況調査の「地域や社会を良くするために何をすべきかを考えることがありますか」では南区の子どもたちは、全国・新潟市の子どもたちよりポイントがずっと上です。自分のことしか考えない現代の中で、子どもたちが地域のために何ができるか考えることに「はい」と答える子がたくさんいるのは、ほんとに地域の宝だと思います。もっともっと大人も交流して、子どもも交流してもらいたいと思いました。</p> <p>閉会</p>

令和元年度

第2回 南区教育ミーティング

日時 令和2年1月9日(木) 13:30 ~ 15:00

会場 南区役所 4階 講堂

< 教育ミーティング次第 >

- 1 開 会
- 2 教育委員あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 教育委員会情報提供
 - ・令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

5 取組事例発表

- (1) 味方小学校 本間 アユ子 校長
「地域や各団体と学校との連携について」
- (2) 白根地区公民館 和田 和文 館長
「公民館がかかわった地域や各団体と学校との連携について」

6 グループ協議

< 協議テーマ >

「地域や各団体と学校との連携のあり方」

～地域や各団体と学校との連携活動の拡充について～

< 視点 > 地域や各団体と学校がより広く深く連携していくためには、
どうしたらよいか。

(1) テーマに関する意見交換 (グループ討議) ～50分～

(2) 各グループの発表等 ～10分～

7 南区自治協議会 第2部会長 挨拶

8 閉 会

新潟市教育委員会
南区教育支援センター

<協議テーマ>

「地域や各団体と学校との連携のあり方」

～地域や各団体と学校との連携活動の拡充について～

<視点> 地域や各団体と学校がより広く深く連携していくためには、どうしたらよいか。

○ 取組事例発表

(1) 味方小学校 本間 アユ子 校長

「地域や各団体と学校との連携について」

(2) 白根地区公民館 和田 和文 館長

「公民館がかかわった地域や各団体と学校との連携について」

○ テーマに関する意見交換 (グループ討議)

第2回南区教育ミーティング参加者

令和2年1月9日

南区自治協議会 第2部会委員名簿

	氏名	なまえ	団体名	グループ協議
1	小林 誠	こばやし まこと	臼井地区コミュニティ協議会	Aグループ
2	川村 朋生	かわむら ともき	大郷地区コミュニティ協議会	Bグループ
3	笹川 和代	ささがわ かずよ	味方地区コミュニティ協議会	Aグループ
4	今井 剛	いまい つよし	南区PTA連絡協議会	Aグループ
5	寺澤 和江	てらさわ かずえ	南区連合保健会	Bグループ
6	渡邊 喜夫	わたなべ よしお	南区老人クラブ連合会	Bグループ
7	小嶋 ノリ	こじま のり	食生活改善推進委員協議会南支部	Bグループ
8	中野 裕子	なかの ゆうこ	南区障がい者団体代表 (南区手をつなぐ育成会)	Aグループ
9	町屋 参吉	まちや みつよし	民生委員・児童委員	Bグループ
10	鈴木 照子	すずき てるこ	支え合いのしくみづくり協議体	Bグループ
11	田中 容子	たなか ようこ	地域教育コーディネーター(庄瀬)	Aグループ
12	和泉 美春	いずみ みはる	公募委員	Aグループ
13	早見真由美	はやみ まゆみ	公募委員	Bグループ

取組事例発表

1	本間アユ子	ほんま あゆこ	味方小学校長	Aグループ
2	和田 和文	わだ かずふみ	白根地区公民館長	Bグループ

教育委員・教育委員会事務局

	氏名	なまえ	役職	
1	上田 晋三	うえだ しんぞう	教育委員	全体参観
2	小野沢裕子	おのざわ ゆうこ	教育委員	全体参観
3	渡邊 剛	わたなべ つよし	教育総務課	全体参観
4	山田 哲哉	やまだ てつや	学校支援課長補佐	Aグループ
5	阿部由紀江	あべ ゆきえ	地域教育推進課長補佐	Bグループ
6	川瀬祐里子	かわせ ゆりこ	教育総務課 主査	Aグループ
7	和田 和文	わだ かずふみ	白根地区公民館長	Bグループ
8	松田 玲子	まつだ れいこ	白根図書館長	Aグループ記録・発表

南区教育支援センター

	氏名	なまえ	役職	
1	長谷部 芳樹	はせべ よしき	南区教育支援センター 所長	全体進行
2	遠藤 宜秀	えんどう よしひで	南区教育支援センター指導主事	Aグループ司会
3	宮崎 繁夫	みやざき しげお	南区教育支援センター指導主事	Bグループ司会
4	牛腸 まゆみ	ごちょう まゆみ	南区教育支援センター主任	Bグループ記録・発表

M E M O

教育委員 小野沢 裕子	教育委員 上田 晋三

	味方小学校 本間 アユ子	教育支援 センター 遠藤 宜秀 (進行)	味方地区 コミュニティ 協議会 笹川 和代
会	A		
	公募委員 和泉 美春		教育総務課 川瀬祐里子

臼井地区 コミュニティ協議会 小林 誠
白根図書館 松田 玲子 (記録・発表)
南区 障がい者団体 中野 裕子

	食生活改善 推進委員 協議会南支部 小嶋 ノリ	教育支援 センター 宮崎 繁夫 (進行)	白根地区 公民館 和田 和文
	B		
	大郷地区 コミュニティ協議会 川村 朋生	南区教育支援センター 牛腸 まゆみ (記録・発表)	南区 老人クラブ連合会 渡邊 喜夫
	支え合いの しくみづくり 協議体 鈴木 照子		公募委員 早見 真由美

教育委員 小野沢 裕子	教育委員 上田 晋三

味方小学校
本間 アユ子

教育支援
センター
遠藤 宜秀
(進行)

教育支援
センター
宮崎 繁夫
(進行)

白根地区
公民館
和田 和文

会

A

味方地区 コミュニティ協議会 笹川 和代
白根図書館 松田 玲子 (記録・発表)
南区PTA連絡協議会 今井 剛

食生活改善推進委員 協議会南支部 小嶋 ノリ
南区教育支援センター 牛腸 まゆみ (記録・発表)
南区連合保健会 寺澤 和江

B

教育総務課
川瀬祐里子

地域教育
コーディネータ
田中 容子

支え合いの
しくみづくり
協議体
鈴木 照子

民生委員・
児童委員
町屋 参吉

公募委員
早見 真由美

取組事例発表資料

- ① 新潟市立味方小学校
- ② 白根地区公民館

南区教育支援センター

地域や各団体と学校との連携について

新潟市立味方小学校

1 当校の地域と学校パートナーシップ事業の特色

(1) 「味方小おむすびクラブ運営協議会」の設立

- ・学校の教育方針や活動に賛同し、応援して下さる団体と個人に呼びかける。
- ・会の規約作成、役員組織、役割分担の明確化
- ・地域教育コーディネーター、各団体、個人それぞれが活動を企画・提案・運営
- ・定期的な情報交換の場の設定（年2回の定例協議会、各活動の際）
 - 第1回 ① 役員名簿 ② 学校経営方針説明 ③ 組織図 ④ 今年度の活動予定
 - 第2回 ① 今年度の活動報告 ② 事業についての協議

(2) 「味方小おむすびクラブ運営協議会」の組織について（別紙資料1）

- ・役員（今年度は10名）
- ・活動企画運営ボランティア（別紙資料2）
- ・実績 2018年度おむすびクラブ室来室者数 1, 136名
ボランティア延べ人数 1, 064名（実人数202名，新規54名）

2 成果と課題

(1) 成果

- ① 学校課題を共有することで活動の方向性を揃えることができた。
→ 主体的に学ぶ姿の実現につながっている。
- ② 組織とすることでボランティア依頼が個人だけでなく団体に行うことができた。→ 支援体制の確立により持続可能な体制となった。
- ③ 横のつながりができたことで、学校内はもちろん、学校外でも加入団体が協働したり、共催事業を展開したりするようになった。
→ 連携により地域活性化が図られている。

(2) 課題

- ① 加入団体との連絡調整をコーディネーターが行うが、学校がボランティアに何をどのようにしてほしいのかを明確に伝えることが重要。
→ ボランティアのやりがいにつなげるために活動内容の精査を計画的に実施。
- ② 地域にある様々な団体が一体となり、地域を盛り上げる仕組みづくりにつなげていく。
→ 協働できる活動を工夫し、さらに地域に開かれた教育課程の編成に努める。

第2回南区教育ミーティング





新潟市立味方小学校 おむすびクラブ規約

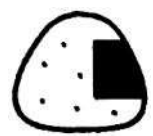
第2章 目的 (目的)

第3条 本会は、味方小学校の子どもが学力を高め、心豊かに健やかに育つために、地域のひとやもの、ことを有効に活用し、味方小学校の教育を支援したり、子どものための事業を実施したりすることを目的とする。

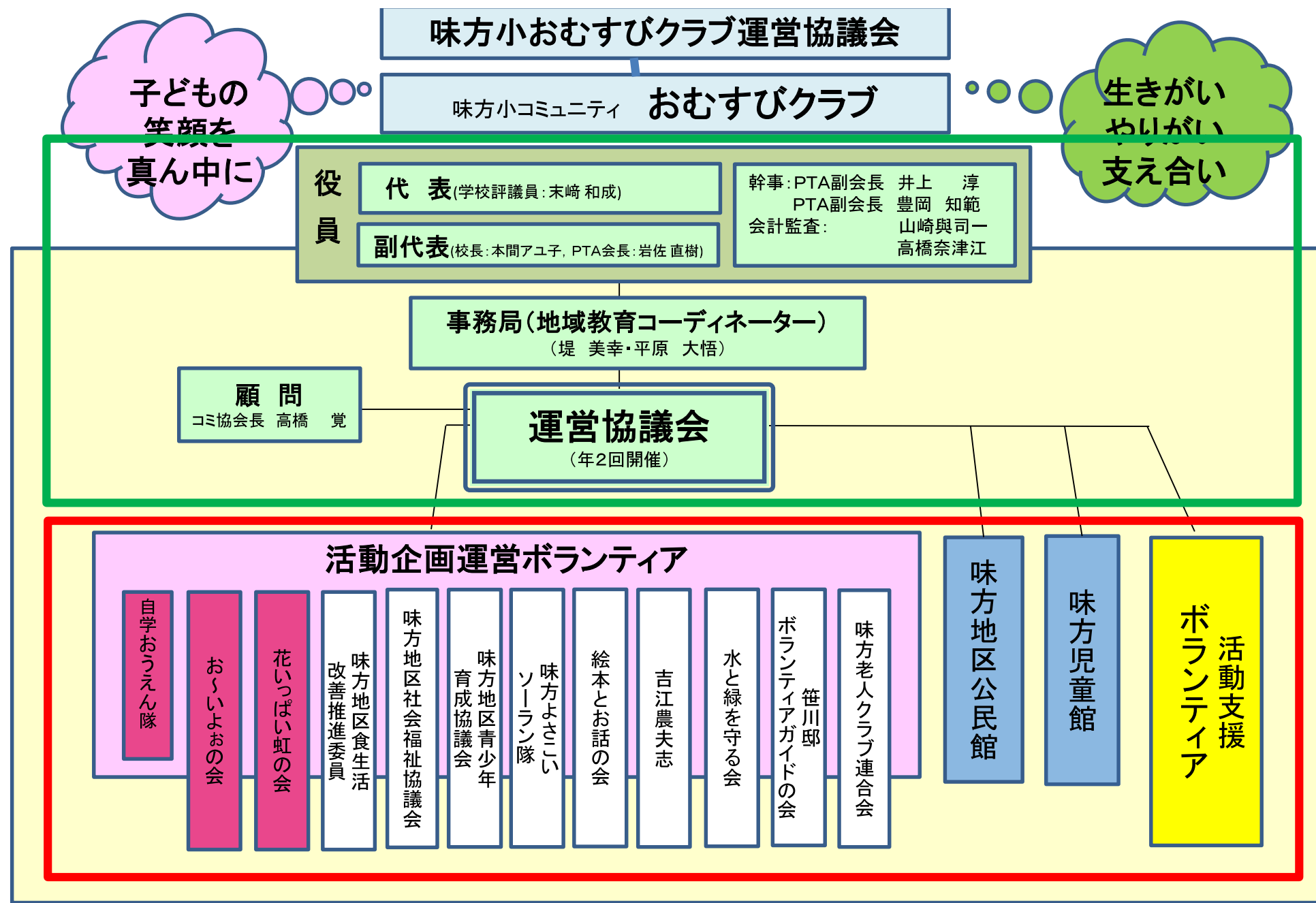
また、子どものための活動を通してかかわる人々が生きがいを感じたり、味方地域の活性化につなげたりして地域の生活環境の充実・発展に寄与することを目的とする。

令和元年度 味方小学校おむすびクラブ役員

役職名(人数)宇	所属
代表(1名)	学校評議員
副代表(若干名)	PTA会長
	校長
顧問(若干名)	味方コミ協会長
幹事(若干名)	PTA副会長
	PTA副会長
会計監査(若干名)	学習支援ボランティア
	学習支援ボランティア
事務局(若干名)	地域教育コーディネーター コミ協副会長
	地域教育コーディネーター



組織図



おむすびクラブ 活動企画運営団体の活動報告（2018年度）

協力団体名	主な活動	成果と課題
味方よさこいソーラン隊	運動会ダンス指導 他	区の踊りを子どもたちが伸び伸びと演じられた
絵本とお話の会	年間読み聞かせ（月1回）学校司書との選書学習会 蔵書点検支援	2名新メンバー加入。年度末になると子どもたちが集中して聞けるようになり張り合いである
食生活改善推進委員	3年総合（郷土食調理指導）文化祭体験教室	郷土食としてののっぺ作りや防災調理を実施
吉江農夫志	5年総合（学校田運営サポート）	田のICT管理や減農薬を通して考える農業体験
味方老人クラブ連合会	1年生活科（昔の遊び）5年家庭科（手縫い指導）	参加者が子どもと楽しむ活動ができて良い。お～いよおの会のアルミ缶回収に協力申し出。
笹川邸ボランティアガイドの会	3, 4年総合サポート（笹川邸）	子どもの真剣に学び、ガイドする姿に感動。
水と緑を守る会	2年生活科生き物探し 1, 2年さつまいも苗植え・いもほり	保小連携の活動となり、保育園児をリードする小学生がいて活動の意義を感じた。
味方地区青少年育成協議会	いきいき子ども塾 納涼祭アトラクション	4つの活動で他団体と連携。新しい企画実施。
味方地区社会福祉協議会	4年総合サポート（福祉）	福祉体験学習で視覚障がい者との交流企画
味方児童館	自学おうえん隊 行事サポート	文化祭体験教室の一つを開催
味方地区公民館	キッズ体験教室 いきいき子ども塾 児童館共催事業	下学年のいきいき子ども塾での支援や子どもの楽しめる企画作成
自学おうえん隊	放課後、長期休業中の学習支援	参加する子どもたちが自分で課題を決めて学ぶ姿が見られるようになり感動。
お～いよおの会	活動資金調達（アルミ缶回収、納涼祭・味方諏訪神社例祭出店）文化祭豚汁提供 いきいき子ども塾 あさがおアーチ	資金集めを目的につながりながら楽しむことができた。子ども主体の活動を増やしていく。
花いっぱい虹の会	校内の花生け 花壇整備 あさがおアーチ	学校の環境整美に役立てた。協働作業がよい。



成果

- ① 学校課題を共有することで活動の方向性を揃えることができた。→主体的に学ぶ姿の実現
- ② 組織とすることでボランティア依頼が個人だけでなく加入団体に行えた。
→組織化することにより持続可能な体制の確立
- ③ 横のつながりができたことで、学校内はもちろん、学校外でも加入団体が協働したり共催したりして事業を展開した。
→連携による地域活性化の推進



課題

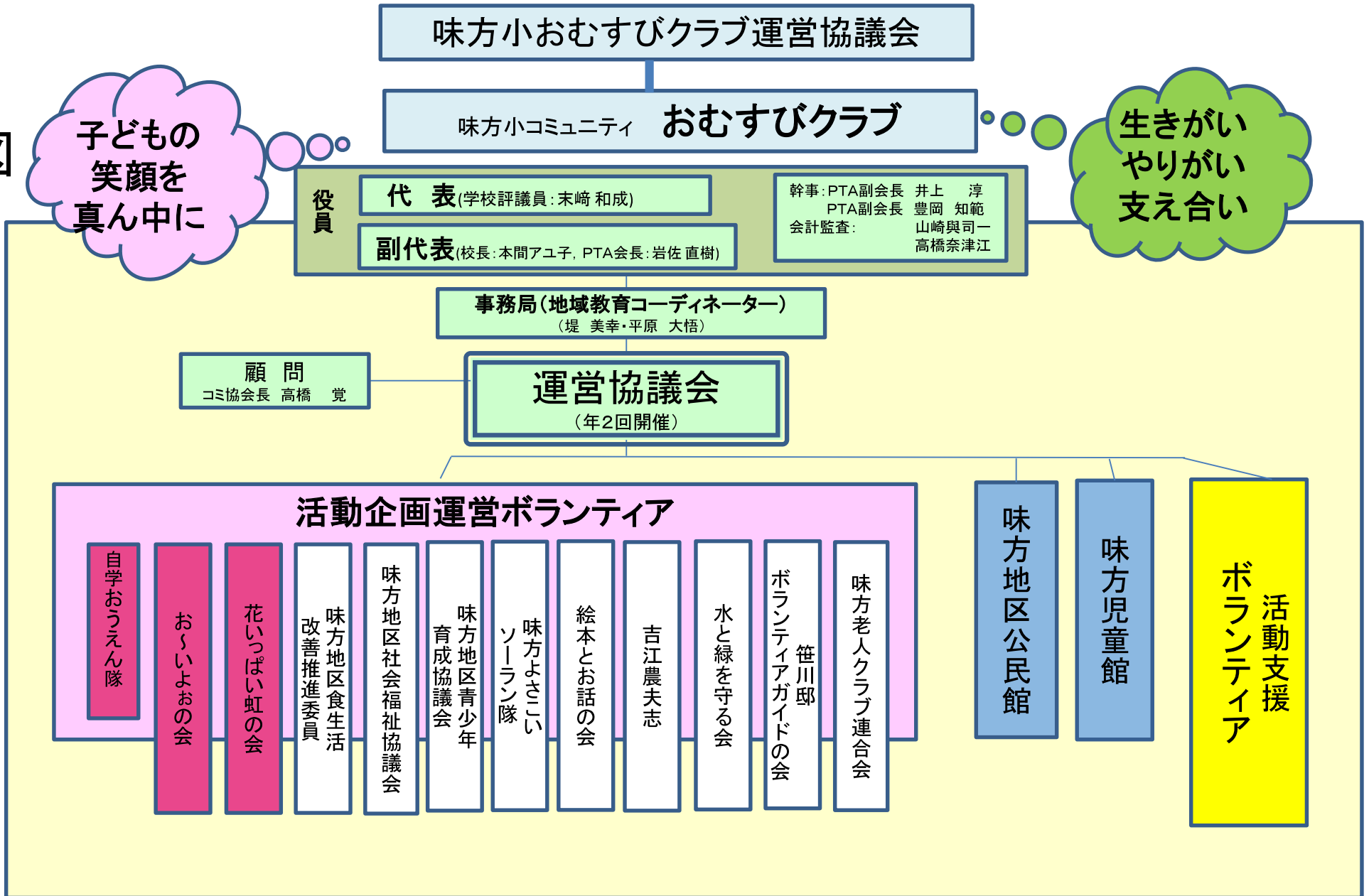
- ① 加入団体との連絡調整をコーディネーターが行うが、学校がボランティアに何をどのようにしてほしいのかを明確に伝えることが重要。
→ボランティアのやりがいに繋げるためにも活動内容の精査を計画的に行う。
- ② 地域にある様々な団体が一体となり、地域を盛り上げる仕組みづくりにつなげていく。
→協働できる活動を工夫し、さらに地域に開かれた教育課程の編成に努める。

第1回 おむすびクラブ運営協議会



ご静聴ありがとうございました

組織図



資料2

おむすびクラブ 活動企画運営団体の活動報告（2018年度）

協力団体名	主な活動	成果と課題
味方よさこいソーラン隊	運動会ダンス指導 他	区の踊りを子どもたちが伸び伸びと演じられた
絵本とお話の会	年間読み聞かせ（月1回）学校司書との選書学習会 蔵書点検支援	2名新メンバー加入。年度末になると子どもたちが集中して聞けるようになり張り合いである
食生活改善推進委員	3年総合（郷土食調理指導）文化祭体験教室	郷土食としてのっぺ作りや防災調理を実施
吉江農夫志	5年総合（学校田運営サポート）	田のICT管理や減農薬を通して考える農業体験
味方老人クラブ連合会	1年生活科（昔の遊び）5年家庭科（手縫い指導）	参加者が子どもと楽しむ活動ができて良い。お～いよおの会のアルミ缶回収に協力申し出。
笹川邸ボランティアガイドの会	3, 4年総合サポート（笹川邸）	子どもの真剣に学び、ガイドする姿に感動。
水と緑を守る会	2年生活科生き物探し 1, 2年さつまいも苗植え・いもほり	保小連携の活動となり、保育園児をリードする小学生がいて活動の意義を感じた。
味方地区青少年育成協議会	いきいき子ども塾 納涼祭アトラクション	4つの活動で他団体と連携。新しい企画実施。
味方地区社会福祉協議会	4年総合サポート（福祉）	福祉体験学習で視覚障がい者との交流企画
味方児童館	自学おうえん隊 行事サポート	文化祭体験教室の一つを開催
味方地区公民館	キッズ体験教室 いきいき子ども塾 児童館共催事業	下学年のいきいき子ども塾での支援や子どもの楽しめる企画作成
自学おうえん隊	放課後、長期休業中の学習支援	参加する子どもたちが自分で課題を決めて学ぶ姿が見られるようになり感動。
お～いよおの会	活動資金調達（アルミ缶回収、納涼祭・味方諏訪神社例祭出店）文化祭豚汁提供 いきいき子ども塾 あさがおアーチ	資金集めを目的につながりながら楽しむことができた。子ども主体の活動を増やしていく。
花いっぱい虹の会	校内の花生け 花壇整備 あさがおアーチ	学校の環境整美に役立てた。協働作業がよい。

地域や各団体と学校との連携 について（白根地区公民館）

令和2年1月9日

第2回教育ミーティング資料

白根地区公民館 館長 和田和文

はじめに

○公民館の役割

地域がどんなことに悩み、何を課題としているのか「地域に出向き」、「地域の皆さんと共に」課題解決に取り組み、学びあう「ネットワークづくり」を支援します。

「地域に出向く」

地域と顔見知りに！
どなたも「welcome」！

「地域の皆さんと共に」

課題解決に必要な学び！
交流事業の企画・運営！

「ネットワークづくり」

協力者（仲間）を増やす
学校、地域団体をつなぐ

地域のつながり・助け合いの絆を強くし、
「人づくり」「地域づくり」を支援します。

令和元年度 白根地区公民館の取組み

○6つの基本施策に位置づく66事業を実施

- (1) 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業
白根学習館まつりなど 25事業
- (2) 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業
子ども大風合戦大会など 12事業
- (3) 家庭における教育力向上を支援する事業
ゆりかご学級など 7事業
- (4) 青少年の生きる力を育む事業
夏休みこどもチャレンジなど 11事業
- (5) 高齢者の学習支援や社会参加を促進する事業
いまさら聞けない！？しろね塾など 3事業
- (6) 現代的課題を探り、問題解決を促す学習機会を提供する事業
コミュニティ・コーディネータ育成事業など 8事業

地域や各団体と学校との連携について

○白根地区公民館（23事業）

新飯田地区 ソフトボール大会、新飯田小・地区民合同大運動会、**ふるさとキャンプ**

茨曾根地区 子ども大風合戦大会、芸術祭、樽ばやし芸能教室、どんど焼き

庄瀬地区 子ども大風合戦大会、子ども広場、農村公園まつり、文化祭、芸能祭、学びのひろは

（上記、南部3地区 ソフトバレーボール大会、フロアカーリング大会）

小林地区 子ども大風合戦大会、市民運動会、卓球大会

臼井地区 子ども大風合戦大会、臼井の達人、文化祭、伝統芸能の継承

白根地区 子ども大風合戦大会、

大郷地区 大鷲宮のぼりばやし、大鷲シニアクラブ

鷲巻地区 大鷲宮のぼりばやし

根岸地区 子ども大風合戦大会、文化祭、学び舎ねぎし

大通地区 子ども大風合戦大会

地域や各団体と学校との連携について

○令和元年度 白根地区公民館の取組み事例

『新飯田ふるさとキャンプ』

40年以上続く新飯田っ子のアイデンティティ



地域や各団体と学校との連携について

○令和元年度 白根地区公民館の取組み事例

『新飯田ふるさとキャンプ』

40年以上続く新飯田っ子のアイデンティティ

地域の特徴

新飯田地区は白根地域の南部に位置し、果樹や水稲を中心とした農村地域です。様々な公民館事業をとおり、地域住民の交流を盛んに行っており「自分たちの地域は自分たちの力で」といった意識が高い地域です。

地域や各団体と学校との連携について

○令和元年度 白根地区公民館の取組み事例

『新飯田ふるさとキャンプ』

40年以上続く新飯田っ子のアイデンティティ

目的

課題解決能力や豊かな人間性を身に付け「生きる力」の向上を図る。
地域住民に見守られながら、子ども達が主体的に誰とでも協力して
グループ活動を行い、大人との接し方を学ぶとともに、
児童と住民のつながりを深める。

また、日頃の生活を振り返るとともに、**家族に感謝**し「生きている」
ことの喜びや、楽しさを実感してもらおう。

地域や各団体と学校との連携について

○令和元年度 白根地区公民館の取組み事例

『新飯田ふるさとキャンプ』

40年以上続く新飯田っ子のアイデンティティ

対象：新飯田小学校全児童 93名

主催：新飯田公民館推進委員会

共催：白根地区公民館

主管：新飯田地区スポーツ振興推進委員会・新飯田小学校PTA

後援：新飯田小学校・新飯田地区青少年健全育成協議会

運営体制（新飯田イベント部会）：

正副委員長等役員5人・本部班3人・レク班19人・生活班23人・食事班7人・

その他PTA18人

参加費：1,500円（児童1人当たり）

地域や各団体と学校との連携について

○地域や各団体と連携を進めるにあたっての南区の良き

旧白根市域は、平成25年度まで10の地域に公民館（分館）が存在し、地域のニーズに応じた活発な公民館事業を実施してきました。

新飯田公民館、茨曾根公民館、庄瀬公民館、小林公民館、臼井公民館、白根公民館、大郷公民館、鷲巻公民館、根岸公民館、大通公民館

現在は、地域生活センターとなっていますが、当館の職員がこれらの地域に出向き、これまでの公民館事業を引継ぎ、さまざまな活動を地域の皆さんとともに、取り組んでいます。

地域や各団体と学校との連携について

○地域や各団体と学校との連携活動を 拡充するための課題や要望

だれにとっても、メリットのある取組みを皆さんと共に考え実践し、
地域のつながり・助け合いの絆を強くする、
「人づくり」「地域づくり」のネットワークを構築する。



「三方よし」



ご清聴ありがとうございました。